

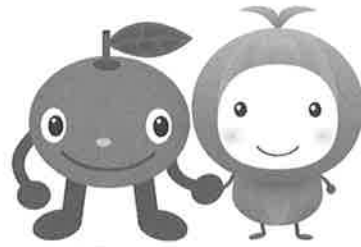
北海道十勝町

連携を始めます

和歌山県北山村

全国で2つしかない自治体独自のブログポータルサイトを持つ、本町と和歌山県北山村との本格連携が始まることとなりました。

今後、両自治体がつ通信販売サイトを中心に、経済活動など付加価値を生むような形の連携を目指してまいります。



じゃばら君 × ほろんちゃん



▲左から、久保村議会議長、奥田村長、竹中町長、石川町議会議長



北山村は、紀伊半島のほぼ中央部に位置し、三重県と奈良県に囲まれ、和歌山県どの市町村とも隣接しない日本唯一の飛び地の村。面積の98%を山林が占め、人口は約500人。その約46%が高齢者で、典型的な山村地域です。名物は、「北山川観光筏下り(写真)」と特産「じゃばら」。「じゃばら」は、花粉症などのアレルギーの抑制効果などから、売上が2億円を超えるほどの全国的なヒット商品となりました。

このほど、2月12日からの

平成20年12月、本町はブログポータルサイト「かみしほろん.com」の開設にあたり、和歌山県北山村が運営する「村ぶろ」のシステムを活用。その後昨年8月に通販サイト「十勝かみしほろん市場」を開設し、インターネットを中心とした交流が図られていました。12月には、両ブログサイトと通販サイトを結びパートナーリンクによる連携を始めます。また、昨年11月には、北山村の特産品であるかんきつ類「じゃばら」の「じゃばらの里収穫祭」に参加し、熱気球係留を行いました。



ブログポータルサイト

▲「かみしほろん.com」(右)
<http://www.kamishihoron.com/>
「村ぶろ」(左)
<http://www.murablo.jp/>



通信販売サイト

▲「十勝かみしほろん市場」(右)
<http://shop.kamishihoron.com/ichiba/>
「じゃばら村センターわいわい市場店」(左)
<http://www.kitayamamura.com/>



▲十勝養蜂園の国産はちみつ300g+じゃばら360mlの詰め合わせセット「北山じゃばら・かみしほろんセット」をバルーン会場でも販売。

ウインターバルーンミーティングに合わせ、奥田貢北山村長、久保村議会議長及び村役場の担当者3名が来町し、町民やバルーンミーティング参加者らと交流を深めました。

記者会見で竹中町長は、「この連携は、インターネットから始まったもので、今後もネットを活用した交流・連携事業を展開し、可能性を探っていきたい。」とし、奥田村長は、「両町村の物産は、競合しないので、販売などを伸ばしていきたい。」と意気込みを話されました。

12日から両自治体の特産物を詰め合わせた「北山じゃばら・かみしほろんセット」を連携第1弾として、通販サイトや、バルーンミーティング会場で販売しました。

今後は、両自治体の情報交換サイトの開設や両特産品を利用した商品開発を目指し、観光、食などの面で連携を目指していくこととなります。